

令和7年9月1日

第1回地域連携推進協議会（グループホーム）議事録

日時： 令和7年8月29日（金） 13:00～14:50
場所： みずほ学園内新会議室
参加者： ご利用者（T、S様）
ご家族代表（ご利用者後見人 S 社会福祉士様）
地域の関係者（古新田区長 K 様）
福祉に知見のある方（長生ひなた T GH 等支援ワーカー様）
経営に知見のある方（社会福祉法人つばさ 管理者：K 様）
市町村の障害福祉担当者（勝浦市役所福祉課 課長：W 様、I 保健師 様）
学園職員（村上施設長、山口副施設長、近藤主幹、栗原主幹、深井主任）
記録： 深井

1、開会

村上施設長より挨拶

・グループホームは地域に根差した6名の生活の場として学園の中だけでなく外部からの意見を頂けたらと考えています。施設の中だけで解決してしまわないように屈託のない意見交換の場としたいと考えています。

2、委員・学園職員の紹介

・各委員、学園職員から自己紹介を行いました。

3、施設見学

・深井、栗原主幹で生活介護棟、グループホーム、日中作業棟の見学を行いました。

4、学園状況説明及び質疑応答

(1) みずほ学園の現状説明

・山口副施設長より、資料を使って概要についての説明を行いました。

(2) 経営状況についての説明

・近藤主幹より、資料を使って財務状況についての説明を行いました。

(3) ご利用者の日常生活の様子説明

・深井より、パンフレットを使って説明を行いました。

(4) 地域からの苦情及び実習生等から状況説明

・村上施設長より、説明を行いました。

①グループホーム：苦情なし。

②生活介護：送迎車のスピード、車間距離について苦情があり、職員へ指導しました。

③入所：以前は無断外出、住居にあがり冷蔵庫のものを食べてしまうこともあったが、地域の方の理解や協力により運営できています。

施設内で結論付けをできていない部分があるので外部の方の目線が重要と考えています。

④介護等体験（義務教育教員免許）、単位実習（保育士）より

- ・男性ユニットの臭いがきつい（トイレ、居室）

職員は慣れてしまっており、外部の目線で気付くことができました。

掃除や換気などを見直しています。

- ・ご利用者への対応がきつい

前後の対応理由はありますが、施設としては改める必要があります。

外部の方が見て支援方法を変えることがあってはならない。ご利用者の尊厳を尊重し一緒に暮らしていく、支えていくことが重要です。支援を見直して頂くように職員へは伝えました。

(5) 虐待・身体拘束の取り組み説明

- ・栗原主幹より、資料を使って虐待、身体拘束の取り組みについての説明を行いました。

5、委員からの意見・感想・ご利用者への質問等

①グループホームのご利用者の高齢化について対応は考えていますか？

- ・周辺地域はサービスの資源が少ないため、ある年齢になったら入所してもらうことも考えています。

- ・高齢者施設とのタイアップ。社会福祉法人つばさ K 管理者様との意見交換、アドバイスが重要になってくると思われます。

②保護者の高齢化

- ・医療的な判断が、今後問題になってくると考えられます。

③本人の意思

- ・終末期をどうするのか？今後の課題です。
- ・ご利用者の意志を確認できない場合もあります。

④職員の確保

- ・国際武道大学の実習受け入れの経緯は？

介護等体験（義務教育教員免許）が必須科目になっています。

6、閉会挨拶

共生を大切にしながら暮らしを継続できればと考えています。今後ご協力お願いいたします。

以上